



# 設計図

設計図をもとに、レンガ炉は、約1時間でできあがります。

# たたら製鉄とは

「たたら製鉄」は日本古来の鉄づくりのことを言います。鉄づくりは、弥生時代に朝鮮から伝わりました。砂鉄と木炭を使った鉄づくりは、古墳時代から山陰地方で発展し、江戸時代になって高度に発達しました。

しかし、明治時代になると、鉄鉱石とコークスでつくる近代製鉄が盛んになり、昭和時代にはほとんど行われなくなりました。現在では、「たたら製鉄」の技術を後世に伝えていくため、また刀剣をつくるための玉鋼たまはがねを製造するために、島根県にっとうほ「日刀保たたら」で1年に2~3回だけ「たたら炉(およそ縦3.1m、横1.4m、高さ1.2mの炉)」をつくり、「たたら製鉄」が行われています。

作成 北海道教育大学釧路キャンパス  
 地域学校教育専攻 授業開発コース 境 智洋  
 e-mail csakai@kus.hokkyodai.ac.jp  
 URL <http://hou2.kus.hokkyodai.ac.jp>  
 印刷 富士プリント株式会社 2008.2.1

このパンフレットは平成19年度笹川科学研究助成を使用しました